

# 2020年度 リスクアセスメントセミナー

## ～安全衛生活動から安全衛生管理へ！～

県内の休業4日以上労働災害発生件数は、2008年度以降下げ止まっている状況が続いておりますが、さらなる労働災害の撲滅に向けては、KYT やヒヤリ・ハット等の安全衛生活動からリスクアセスメントによる安全衛生管理へシフトしていく必要があります。そこで、愛知労働局が第13次労働災害防止推進計画期間中を通じて「危なさと向きあおう」をスローガンに取り組んでおられます同局の安全課 主任安全専門官の濱田 勉 氏にリスクアセスメントの進め方について説明していただきます。事業場の安全衛生担当者等のご参加をお待ちしております。

日時

2021年  
1月25日(月)  
14:00～15:30  
(受付開始13:30～)

会場

愛知労働基準協会  
第1研修室  
名古屋市中区栄2-9-26 ポーラ名古屋ビル9階  
地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車  
南へ徒歩5分  
(⑤番出口から地上に出てください。)

参加費

無 料

定員

50名

※申込期日前でも定員になり次第締切とさせていただきますので、お早めにお申込みください

主催

公益社団法人愛知労働基準協会

協力


愛知安全管理者交流会

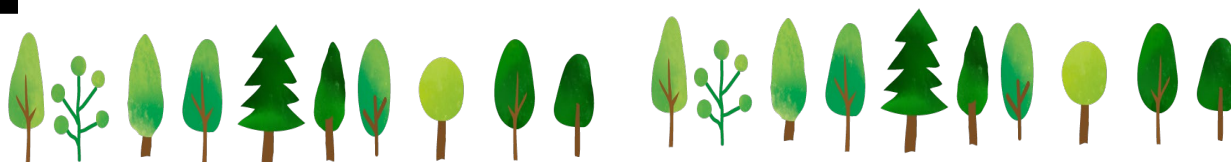
お問合せ

公益社団法人愛知労働基準協会 教育事業部  
TEL 052-221-1439 / FAX 052-221-1440  
Email : kj-ark@airouki.or.jp

お願い事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用・手指の消毒・受付での検温・ソーシャルディスタンスへのご協力をお願いいたします。

内 容	
14:00～14:05	オリエンテーション
14:05～15:30	「リスクアセスメント ～安全衛生活動から安全衛生管理へ」  講師： 濱田 勉 氏  愛知労働局 労働基準部 安全課 主任安全専門官
	
<b>危なさは「見つける」のではなく「調べる」</b> これまでの災害防止では、危険感受性を高め、できるだけ多くの危なさを「見つける」ことに力を注いできました。一方で、「見つける」順序は、目に付いた順、気づいた順など、各人に任されていました。本来の「安全」を確保するためには、個人の危険感受性や気づきに期待するのではなく、道筋を決め、順序立てて危なさを調べる方法に切り替えていくことが必要です。主観的に「見つける」姿勢から、客観的に「調べる」姿勢に切り替えていきましょう。	
<ul style="list-style-type: none"><li>・安全とは何か</li><li>・呪縛から解放されよう</li><li>・災害発生のシナリオとは</li><li>・リスクアセスメントで何を実現するのか</li><li>・事業運営に溶け込んだリスクアセスメントとは</li></ul>	



○申込み先：公益社団法人愛知労働基準協会 教育事業部 行

FAX 052-221-1440

申込日 年 月 日

2020年度 リスクアセスメントセミナー  
 ～安全衛生活動から安全衛生管理へ～  
 参加申込書

事業場名			事業場規模 (しち)をご記入ください	<input type="checkbox"/> 50人未満 <input type="checkbox"/> 50～99人 <input type="checkbox"/> 100～299人 <input type="checkbox"/> 300～999人 <input type="checkbox"/> 1,000人以上	受付 No.
所在地	〒				申込受付印
参加者 職・氏名	所属・役職名	氏名（フリガナ）			
連絡担当者 職・氏名	所属・役職名	氏名（フリガナ）			
電話番号		FAX 番号			
E-mail					

- ・太枠内のすべてについてご記入ください。FAX 番号は必ず記入していただきますようお願いします。
- ・本申込書中の個人情報は当協会が行う各種セミナーのご案内などに利用させていただくことがあります。